



ふ れ あ い

令和6年 7月18日発行

第102号

PTA会長：橋元 直也

広報部長：原口さつき

特集Ⅰ 令和6年度 PTA 役員紹介～よろしくお願いします～

【役職】名前（学部） ① 好きな季節 ② 一言あいさつ	【会長】 橋元 直也（高等部） ① 夏：イベントも多くワクワクする。活動的になる。 ② PTA会員の皆様が楽しく子育てができるように、楽しく繋がる機会を作っていきます。ぜひご参加ください。
【副会長】 宮ヶ原 朋美（小学部） ① 全て：どの季節も子供たちと楽しく過ごせるイベントがあるから。 ② 交流会やイベント等を通して、情報交換や親睦を深めることで、より楽しい学校生活を送れると思うので、ご協力の程よろしくお願いいたします。	【副会長】 祝田 弘美（中学部） ① 春：過ごしやすい気候で花見（桜）が楽しめる。新学期など新しいことが始まるワクワク感がある。 ② 昨年に引き続き努めさせていただくことになりました。よろしくお願いします。
【副会長】 兒島 依里奈（高等部） ① 春：木々の葉の緑、空の青など色鮮やかに見えるから。 ② 特別支援学校も残り約2年弱。親子共々楽しみたいと思います。	【広報部長】 原口 さつき（中学部） ① 春：過ごしやすい気候で花見やGWなど楽しめることが多いので。 ② 広報では、はじめてのことばかりで慣れないですが一年間頑張ります。
【研修部長】 永山 めぐみ（高等部） ① 秋～冬：子供たちの名前の由来にもある小春日和と言われるこの時期。ぽかぽかとあたたかい日が大好きです。 ② 1年間よろしくお願いします。私も研修に参加しながら色々と情報収集できたらと思います。	【事業部長】 上山 杏奈（高等部） ① 夏：暑いのは嫌だけど、お祭り・花火などのイベントが大好きだから！ ② 何かと頼りないですが、子供たちの為にみなさんと楽しくやっていきたいと思ってます！がんばります！

副会長（高）
兒島

会長 橋元

副会長（小）
宮ヶ原

事業部長 上山

監事 新留

副会長（中）
祝田

監事 恒吉

研修部長 永山

広報部長 原口

シリーズ PTAって何で必要なの？

～みんなで一緒に考えてみよう！～

核家族化が進み、隣近所との交流も少なくなりつつある昨今、追い打ちをかけるように新型コロナ感染拡大で行事や会食など人との交流が制限されました。そこで改めて人と話す、繋がることの重要性に気がつくこととなったのではないのでしょうか。インターネット社会になり何でも自分で調べれば多少のことは困らない時代ですが、本当にそうでしょうか？保護者同士、学校や地域との繋がりがなくて子どもたちは健やかに育つことができるのでしょうか？PTAはなぜ必要なのか、改めてみんなで考える機会になれば幸いです。

まずはPTAの歴史から当時の想いを知ろう

(日本PTA全国協議会HPより引用)

昭和21年 GHQは文部省にアメリカのPTA資料を基に日本でのPTA結成を指導

昭和22年 先生と父母の会委員会は父母と先生の会～教育民主化のために～と題するPTA結成手引書を作成し各県へ送達。この中のPTAの趣旨は「子供たちが正しく健やかに育って行くには、家庭と学校と社会とが、その教育の責任を分け合い、力を合わせて子供たちの幸福のために努力していくことが大切である。」しかし、現状は学校、家庭、社会がお互いに密接な連絡を持たずみんなバラバラになっている、先生が中心となった会ではなく先生と父母が平等な立場に立った新しい組織をつくる、身分地位や経済的な差別によって色付けられないなどとされた。



戦後すぐに子どもたちの健やかな育ちのために取り組みがはじめられたんだね！

当時、父母と先生の会をつくることの利益として以下のようなものがあげられた（一部分のみ抜粋）

- ・児童生徒の保護対策を立てる気運が生まれる
- ・先生の生活を保護することに協力できる
- ・先生から社会教育に協力してもらえるようになる
- ・児童生徒の職業指導の役に立つ
- ・父母と先生との間柄が親密になる
- ・会員の相互が親しくなってお互いに助け合う気持ちが出てくる

子ども、保護者、先生、みんなの利益のためにPTAがつくられたんだね！



「PTA結成の手引き」が公表されてから1年後の昭和23年（1948）4月には、全国のPTA設置状況は小・中学校とも早くも7割近くに達し、急速に組織化が進展しました。



今の充実した教育体制の整備は当時のPTAの要望のおかげなんだね！

この当時のPTAの活動は、戦後の学校関連諸制度の整備充実への要求が大きな活動の柱でした。

学校給食の制度化、2部授業の撤廃、校舎の増築、青年学級の創立、教科書無償配布、学校保健の実施など、文部行政に対して保護者の立場からの要望をまとめて要請するとともに、それを受けた文部行政の施策の実施に向けて、財政当局への要請活動を精力的に行うというものであった。

急速に全国にPTAが組織されたのは、元々学校ごとにあった後援会や父兄会、父母会などの団体があったからであったが、実情は単に名称を変えただけで、真にPTAであるものは少なかったそうです。その後、時代の流れとともに変化する様々な課題と向き合いながらPTAの活動が行われていきました。昭和28年には「日本PTA全国協議会」が行われ、全国団体としても組織化され教育制度・条件の整備充実が図られていきました。

歴史を知ることによってPTAが何のために、なぜ必要だったのかが分かってきたね！



70年ほど前のことだけど、当時の考え方をすることで、PTAがどうして大事なのか少しわかってきたね！豊かな時代になった今、だからこそ改めて考えるべきこともありそうです。

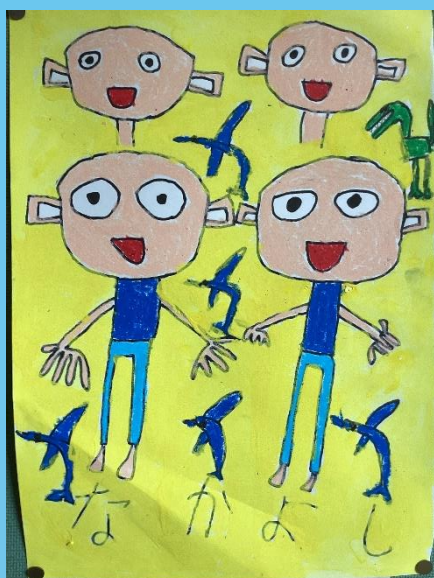


どれだけ科学や技術が進歩しても、人は1人では生きていけない。子育ても一人で頑張っていたら行き詰ってしまう。お互い助け合って地域みんなで子どもを育てる意識が大事だね！

作品&活動 紹介



小学部 「夏祭り」 & 「うちわ」



中学部 「ポスター」 & 「校内実習」



高等部 「あじさい」 & 「ボッチャ」